



2017年 3月期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2017年5月15日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 売上収益

- 産業用光ディスクドライブ事業を前期に譲渡したこと、円高による為替の影響、音響機器事業の不振により減収

■ 営業利益

- 販売費及び一般管理費の削減効果、企業年金制度変更に伴う個別開示項目での利益の計上により増益

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

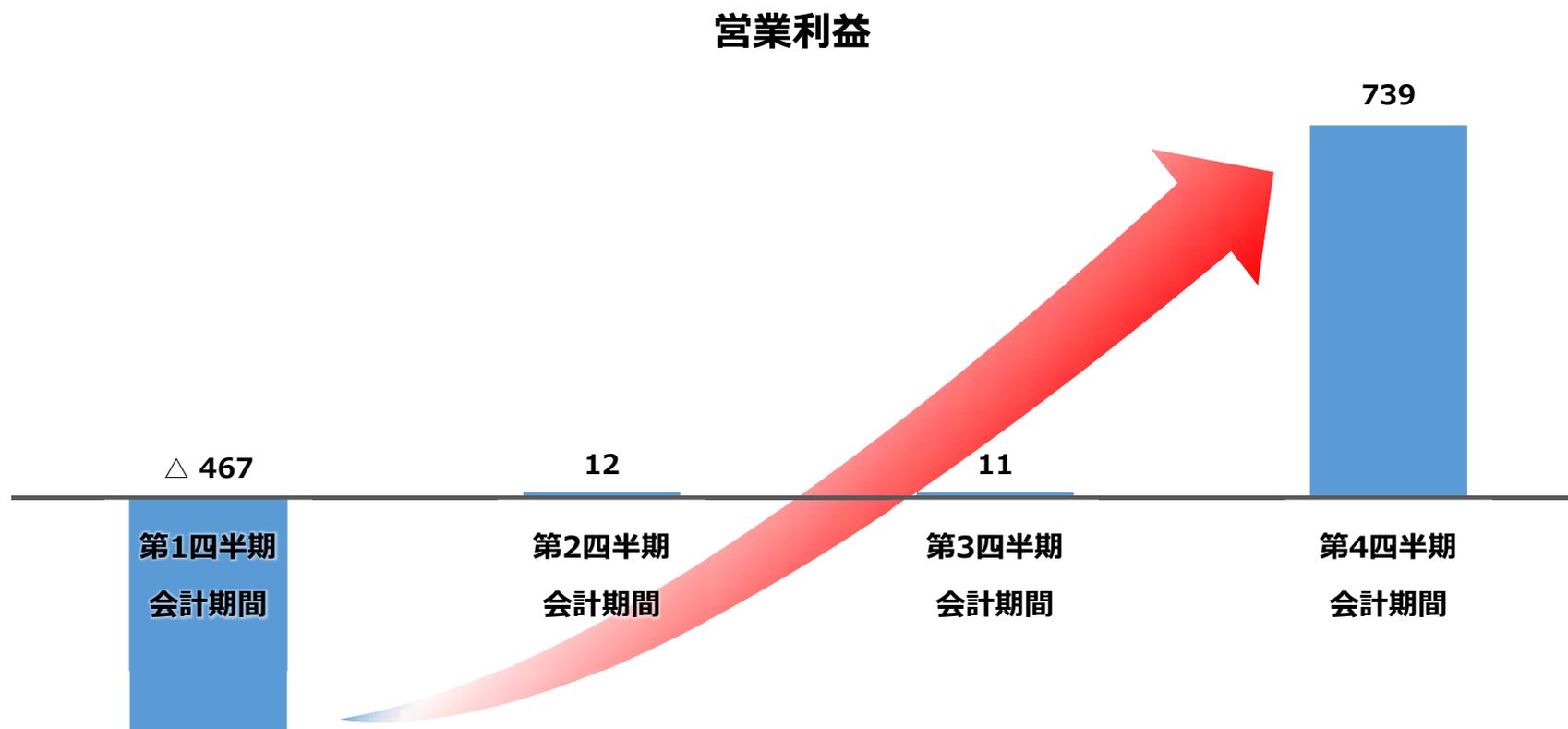
- 訴訟関連費用が発生し、親会社の所有者に帰属する当期損失を計上

■ 資本合計（純資産）

- 期中での債務超過から改善し、債務超過を解消

営業利益 四半期推移

当期は第2四半期連結会計期間から営業利益が黒字化、第4四半期連結会計期間で企業年金制度変更に伴う利益等を計上し営業利益拡大

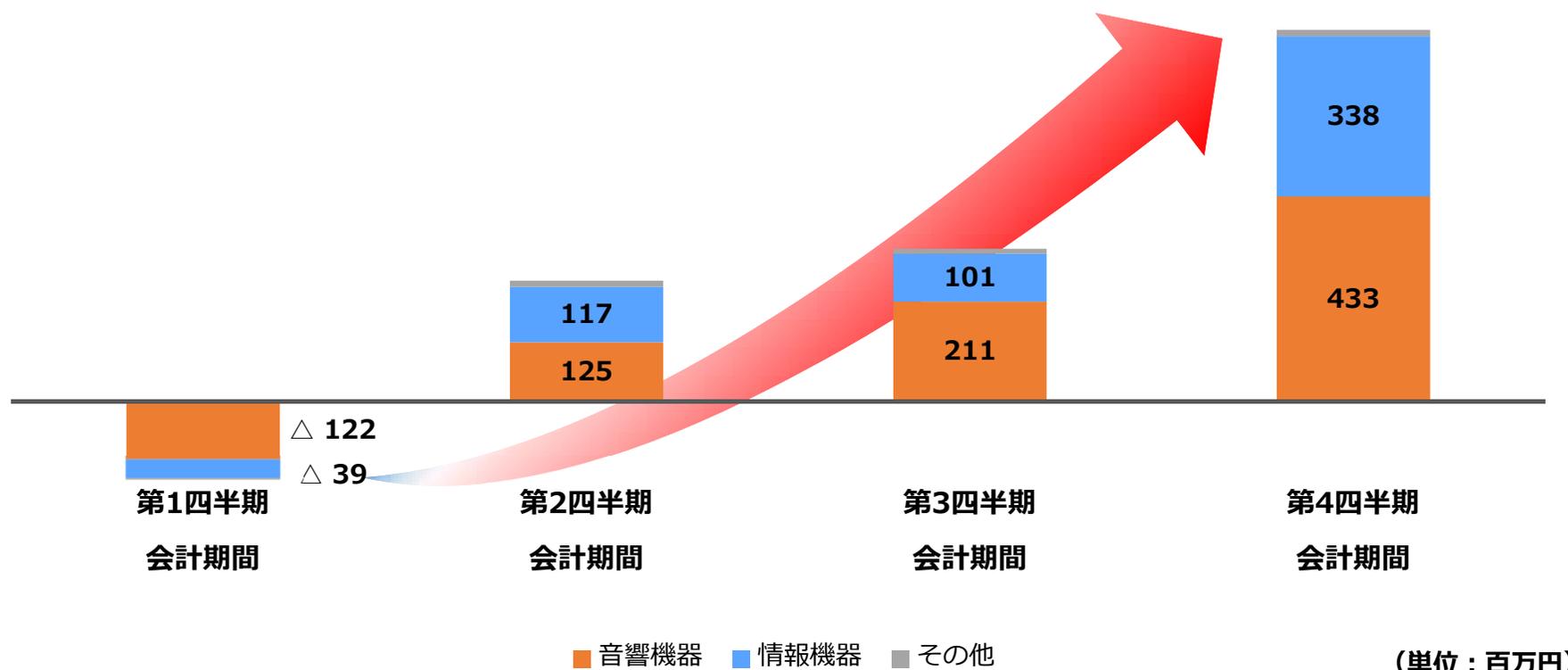


(単位：百万円)

事業別セグメント営業利益

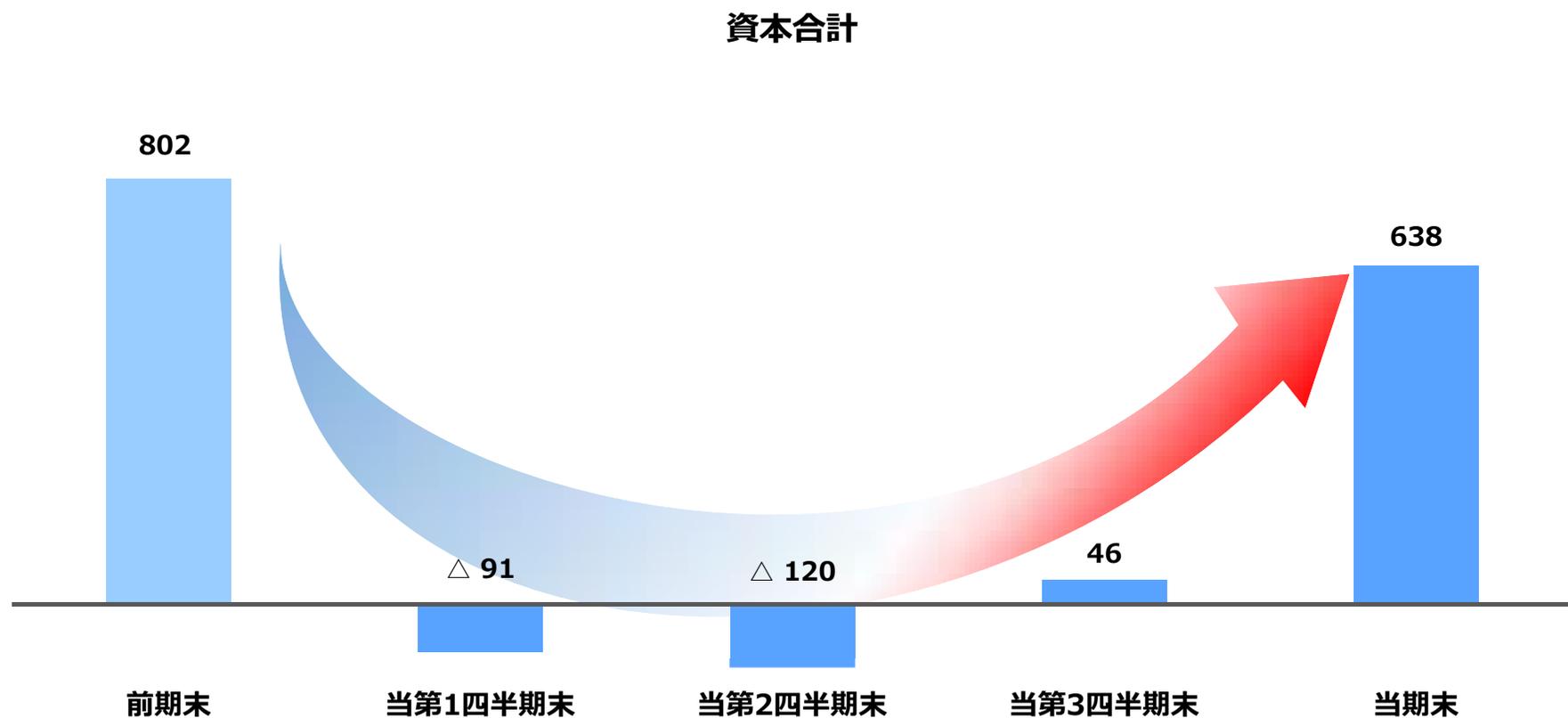
第2四半期連結会計期間から全事業別セグメント営業利益で黒字化を達成
当第4四半期連結会計期間でさらに利益幅が拡大

事業別セグメント営業利益



資本合計（純資産） 四半期推移

第1、第2四半期連結会計期間末において債務超過となるも、第3四半期連結会計期間末で資本合計がプラスに転換、当期末でさらに改善



(単位：百万円)

次期見通し

(単位:百万円)

		2018年3月期 (見通し)	2017年3月期 (実績)	前期比 増減率(%)
売上収益		17,400	17,346	0.3
営業利益		300	295	1.6
親会社の所有者に 帰属する当期利益		50	△52	—
為替レート	1米ドル	110.00	108.36	
	1ユーロ	117.00	126.29	

※2017年3月期実績には、企業年金制度変更等による個別開示項目の利益を含む

トピックス 1 (音響機器事業)

■ 一般オーディオ機器

2017年1月に販売開始した新製品のネットワークCDプリメインアンプ『NR-7CD』を中心としたハイレゾ対応高級オーディオを、2月23日から5月21日までMercedes-Benz Connection NEXTDOORで開催の期間限定企画「Mercedes-Benz Connection NEXTDOOR POLA TALKER'S TABLE FEAT.WE/」に常設展示し、体と心をポジティブに活性化させる音楽と音体験を提供。オープニングプレスイベントには車、化粧品ライフスタイルメディア中心に多くのメディアで取り上げられました。

音だけでなくデザインにもこだわった『NR-7CD』は、オーディオ・音楽ファンに新たなライフスタイルを提案し、アジア地域への出荷も開始しました。

TEACブランドの再構築による製品カテゴリーの見直しおよびブランド価値向上、徹底した固定費削減で収益の改善を目指します。



ネットワークCDプリメインアンプ
『NR-7CD』



トピックス 2 (音響機器事業)

■ 一般オーディオ機器

2017年2月に一般オーディオ機器 (TEACブランド) の中国語 (簡体字・繁体字) ウェブサイトをオープンし、中国市場への拡販にも注力していきます。

<https://teac.cn/cn/> 簡体字
<https://teac.cn/hk/> 繁体字



■ 高級オーディオ機器

2017年3月に、エソテリックブランド30周年を記念したセパレートプレーヤーとして、スーパーオーディオCDトランスポート『P-05X』、34bit デュアルモノD/Aコンバーター『D-05X』の販売を開始しました。エソテリックブランドでは、引き続きネットワーク関連機器などの新規カテゴリーにチャレンジし、新製品の投入を図り、さらに海外市場を拡大させることで成長を目指していきます。

ESOTERIC

スーパーオーディオCDトランスポート 『P-05X』 (上)
34bit デュアルモノD/Aコンバーター 『D-05X』 (下)



トピックス 3 (音響機器事業)

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器

設備、放送、スタジオ関連市場において、関連業者、エンドユーザーとのパートナーシップを強化し、BtoBビジネスに注力し、販売を拡大していきます。

それに合わせた新製品の導入や国内における輸入製品の導入、特殊用途機能対応などトータルソリューションの提供を目指していきます。

dBTechnologies



2017年3月にドイツ beyerdynamic社 テスラテクノロジー搭載インイヤードホンのフラッグシップモデル『XELENTO REMOTE (エクセレント リモート)』を販売開始しました。

熟練した技術を蓄えるドイツ工場ではハンドメイドによって生産されており、インイヤードホンの常識を覆す明瞭かつ迫力のあるサウンドを実現。音質はもとより細部にまでこだわったまるでジュエリーを連想させる美しい外観で、ご好評いただいています。

インイヤードホン
『XELENTO REMOTE (エクセレント リモート)』

beyerdynamic))))



トピックス 4 (情報機器事業)

■ 航空機搭載記録再生機器

新型の機内エンターテインメント用ビデオ再生器およびオーディオ再生機器の拡販を図ります。



SDカード対応機内ビデオシステム『VE-801SDi』

■ 医用画像記録再生機器

Full HD (高精細画像) 対応の手術画像用レコーダーは欧米に加え、アジア地域での市場開拓・拡販に注力していきます。
また、消化器内視鏡向けレコーダーの新製品を投入し、新規顧客への販売に加え従来ユーザーの置換え需要の掘り起しを行っています。



メディカルビデオレコーダー『UR-4MD』

トピックス 5 (情報機器事業)

■ 計測機器

解析機能を追加したデータレコーダーを自動車産業向けに拡販を進めていきます。

また、多チャンネルモデルでは鉄道、重工業などインフラ分野への拡販に取り組んでいきます。



ワイドバンドデータレコーダー『WX-7000シリーズ』

センサーは高性能の組込み型デジタル指示計に加え、2016年11月に販売開始したポータブルデジタル指示計『TD-01 Portable』で好調な半導体業界でのさらなる顧客開拓を進めていきます。また、海外展示会への出展も積極的に行い、市場の開拓に取り組んでいきます。



デジタル指示計『TD-700T』



ポータブルデジタル指示計
『TD-01 Portable』